

NEW!!

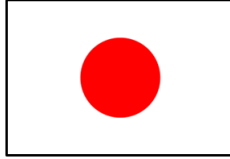
くりっく株365



金ETF・原油ETFが新たに上場!

●日経225やNYダウなどの株価指数に加え、
金や原油のETF(上場投資信託)を投資対象とする商品が取引可能に!

株価指数



日経225



NYダウ



DAX®



FTSE100



ETF



金ETF



原油ETF

●くりっく株365の取引口座でポートフォリオを組むことができ、
投資の幅がさらに広がります!



資産運用の基本は「分散投資」!

すべての資金をひとつの金融資産に集中させると、運用がうまくいかなかった場合にはマイナス影響が資産全体に及びます。

しかし、値動きの異なる複数の資産に分散することで、リスクを分散しながら、安定的な収益を期待することができるのです。

「くりっく株365」なら、一つの口座でいろんな商品を取引できるから、自分の投資スタイルに合ったポートフォリオを組むことができる!!

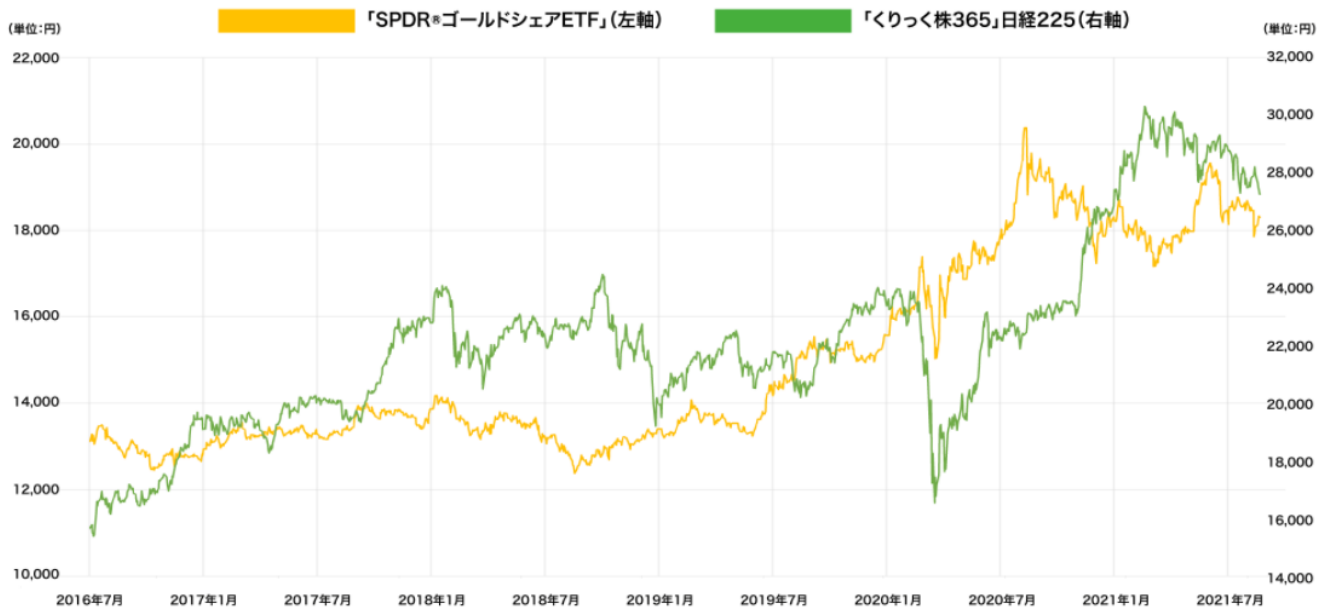


金ETFの取引概要

取引の対象となる原資産	SPDR®ゴールド・シェア(ETF) 【円換算した「金地金価格(ロンドン金値決め)」との連動を目指すETF(上場投資信託)】
1枚あたりの取引単位	「ETFの価格」×100円
1枚あたりの取引金額(参考値)	18,340円×100円=1,834,000円
証拠金基準額(参考値)	35,910円

(2021年8月20日時点のデータを元に算出)

【参考】SPDR®ゴールド・シェアETFと「くりっく株365」日経225の価格推移 (過去5年間)



※日経平均株価 (日経225)

(東京金融取引所・くりっく株365公式ホームページより抜粋)

～金価格の値動きの主な要因～

- ①需要と供給のバランス
- ②米ドルの価値
- ③各国の経済動向
- ④各国の金利の状況
- ⑤原油等の資源価格
- ⑥地政学リスク
- ⑦多量に保有する政府・年金基金等の参入



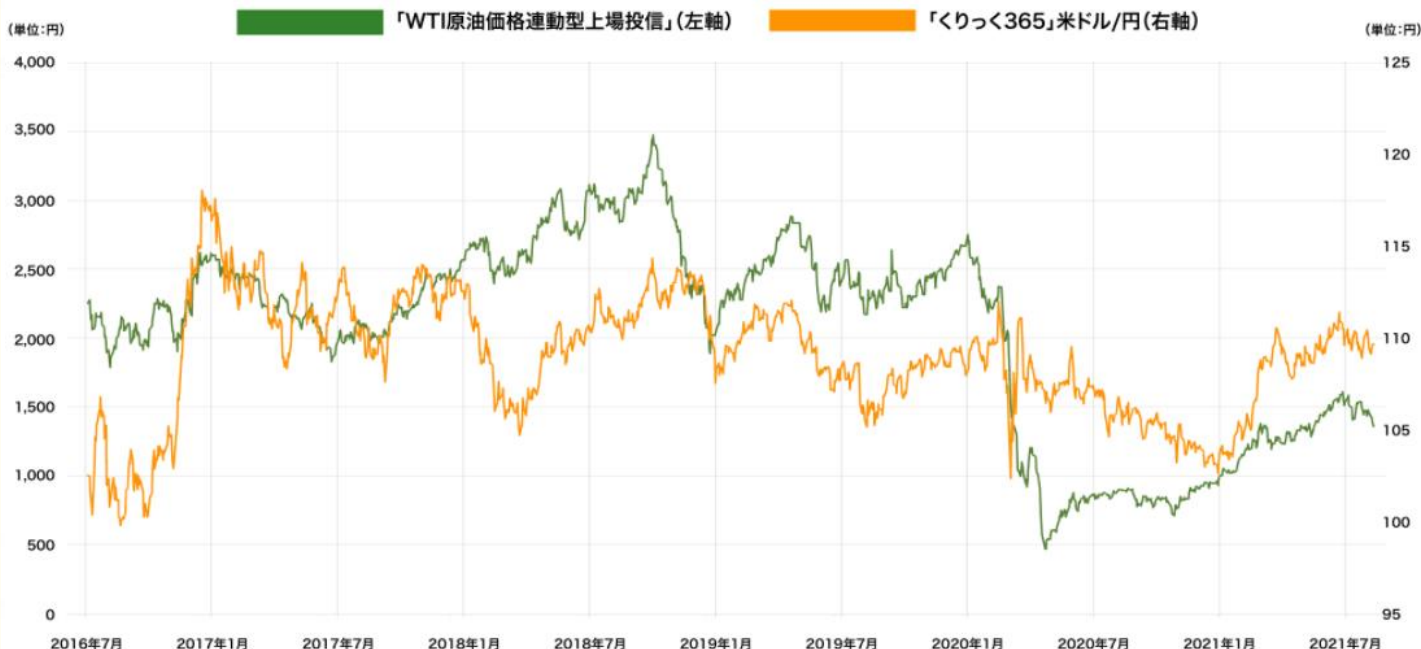
金はそれ自体に価値があり、その価値から世界のどこでも換金できます。そのため、「有事の金」と呼ばれるように、政治・経済の混乱やインフレに強い資産として投資家に好まれてきました。

原油ETFの取引概要

取引の対象となる原資産	WTI原油価格連動型上場投信(ETF) 【円換算した「ニューヨーク商業取引所(NYMEX)におけるWTI原油先物の直近限月の清算値」との連動を目指すETF(上場投資信託)】
1枚あたりの取引単位	「ETFの価格」×100円
1枚あたりの取引金額(参考値)	1,372円×100円=137,200円
証拠金基準額(参考値)	8,380円

(2021年8月20日時点のデータを元に算出)

【参考】 WTI原油価格連動型上場投信と「くりっく365」米ドル/円の価格推移 (過去5年間)



(東京金融取引所・くりっく株365公式ホームページより抜粋)

原油価格は・・・

需要と供給のバランスが

最大の価格決定要因！

需給バランスを見る上での注意点は大まかに6つ！

- ①米国シェールオイルの生産状況
- ②OPEC(石油輸出国機構)の動向
- ③非OECD(経済協力開発機構)諸国の需要
- ④米国の在庫状況
- ⑤原油先物市場の建玉状況
- ⑥その他、為替相場動向や金融動向、経済動向など



【金・原油ETF商品の主な商品仕様】



	金ETFリセット付証拠金取引	原油ETFリセット付証拠金取引
原資産	SPDR®ゴールド・シェア(ETF) (証券コード:1326)(※1)	WTI原油価格連動型上場投信(ETF) (証券コード:1671)(※2)
取引単位	ETFの価格×100円	ETFの価格×100円
呼び値	1ポイント	
最小変動額	100円	
取引時間	9:00~翌朝6:00 (サマータイム適用時は、9:00~翌朝5:00)	
休業日	土曜日、日曜日、1月1日(1月1日が日曜日にあたるときは1月2日)、米国における主たる金先物市場の休場日、取引最終日とリセット日の間の日* *取引最終日を迎えた取引に限ります。	土曜日、日曜日、1月1日(1月1日が日曜日にあたるときは1月2日)、米国におけるWTI原油先物市場の休場日、取引最終日とリセット日の間の日* *取引最終日を迎えた取引に限ります。
取引期間	約15カ月	
取引開始日	毎年9月第2金曜日の翌取引日(原則、月曜日)	
取引最終日	取引を開始した年の翌年12月第3金曜日の前取引日	
リセット日	取引を開始した年の翌年12月第3金曜日の翌取引日	
決済方法	①反対売買による決済 ②取引最終日まで 決済されなかったポジションはリセット日にリセット値で決済	
リセット値	取引対象となる原資産ETFの12月第3金曜日の「一口あたり純資産額」	
金利相当額	買い手:支払い/売り手:受け取り 算出方法:清算価格×取引単位(100円)×金利×日数÷365(日) (適用金利は、一般社団法人全銀協TIBOR運営機関が公表する「ユーロ円TIBOR12カ月物」とします。)	
配当相当額	配当相当額は発生しません。	

- ※1 円換算した「金地金価格(ロンドン金値決め)」との連動を目指すETF(上場投資信託)
- ※2 円換算した「ニューヨーク商業取引所(NYMEX)におけるWTI原油先物の直近限月の清算値」との連動を目指すETF(上場投資信託)
- ※3 9月の取引開始日から12月のリセット日までの約3ヵ月間は、リセット日が異なる同一原資産の商品が重複して存在します。
- ※4 金ETFリセット付証拠金取引及び原油ETFリセット付証拠金取引の初回上場の銘柄について、取引開始日は2021年9月13日です。
- ※5 同一原資産の取引では、リセット日が異なる取引でも同一の証拠金基準額となります。ただし、リセット日が異なる取引間で証拠金は相殺・割引されません。

(手数料について) 当社の売買手数料は1取引単位当たり片道1,870円(税込)です。

基本的な仕組みは日経225やNYダウと同じ!

一つの口座でいろんな商品の取引ができます!



○重要事項説明書(必ずお読みください)

「ゆたかCFD(くりっく株365)」(2021年6月)

【会社の概要】

商号 : 豊トラスティ証券株式会社、金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第299号

所在地 : 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-16-12

加入協会 : 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

問い合わせ先 : お客様サポートデスク 0120-365-281

【リスクの概要】

(1) 価格変動リスク・金利変動リスク・流動性リスク・信用リスク・システムリスク(取引システム又は取引所、当社及びお客様を結ぶ通信回線等が正常に作動しないことにより、注文の発注・執行・確認・取消し等が行えないこと)等により損失が生ずる恐れがあります。

(2) 取引により元本損失・元本超過損が生ずる恐れがあります。

(3) 取引をする際には、お客様は買い気配値で売り、売り気配値で買うことができます。通常買い気配値よりも売り気配値の方が高く、この価格差(スプレッド)は相場急変、為替変動によって広がったり、連続的な提示が不可能又は困難となったりする可能性があり、意図した通りの取引ができないことがあります。

(4) 原資産の株価指数によって、買建玉保有者は金利相当額を支払い、配当相当額を受け取る一方、売建玉保有者は金利相当額を受け取り、配当相当額を支払う必要があります。このため、金利及び配当額の変動によって、それぞれの受取額が減少又は支払額が増加するリスクがあります。

(5) 株価指数の種類によって制限値幅を導入しているものがあるため、市場の状況によっては意図した通りの取引ができないことがあります。また、取引所株価指数証拠金取引の価格は、現物の株価指数や金又は原油に係る上場投資信託(ETF)の価格そのものではないため、需給関係、相場の状況等によっては乖離が拡大し、その結果、現物の株価指数やETFの価格から想定していた価格で取引ができないなどの不利益を被る可能性があります。

(6) 追加証拠金の預託又は片建超過建玉の調整等により証拠金不足の解消(追証対応)を取引再開日の日本時間午後5時30分(取引時間の短縮等の変更の場合には取引再開日の日本時間午後12時30分)までに行わなかった場合には、お客様の計算において保有する全ての建玉が任意に決済されます。なお、取引所の取引再開日が国内の金融機関の休業日の場合、当該建玉の処分は行いません。また、追証未対応による強制決済の場合、強制決済時に決済玉が取引時間外のときには、その取引再開時まで当該建玉の決済は持ち越されますが、その間の取引は強制決済が完了するまで行うことができません。

(7) ロスカット発動の判定がなされた場合には、原則自動的に取引時間内の全ての建玉が決済されます。ロスカット発動時に取引時間外等の事由により建玉が残った場合には、取引再開時以降の価格で当該建玉についてのロスカットによる反対売買が順次行われます。

(8) 両建ての一方を減じて片建て玉が増える決済注文を出す場合、決済枚数に相当する維持証拠金額が必要となります。

(9) リセット付株価指数等証拠金取引において、取引最終日の終了時まで、転売・買戻しが行われなかったために決済されない建玉はリセット日においてリセット値により決済されるため、当該建玉はロールオーバーされません。

【証拠金とレバレッジ】

維持証拠金は東京金融取引所がリスクに応じて算定する証拠金基準額及び取引対象である株価指数の価格に応じて当社が別途定める金額によって変動しますので、取引所株価指数証拠金取引の取引金額に対する比率は、常に一定ではありません。少ない元手で大きな利益を手に行うことができますが、反面、大きな損失につながることもありますので、自己の判断と責任において取引を行う必要があります。また、お客様が差し入れる証拠金は、東京金融取引所に全額直接預託することにより、当社の資金とは分別されるとともに、東京金融取引所においても同取引所の資産と分別して管理されます。なお、お客様から預託を受けた証拠金が当社に滞留する場合は、株式会社三井住友銀行における金銭信託により、当社の自己の資金とは分別して管理します。

【コスト】

リセット付株価指数等証拠金取引の売買手数料は1取引単位当たり片道1,870円(消費税込、NYダウは10分の1)が最大でかかります。ただし、リセットによる建玉決済、両建玉の転売・買戻しの申告(建玉整理)の手料は無料とします。なお、反対売買時に既存の建玉を決済しないで両建てを選択した場合、建玉を片方ずつ減じる際にはそれぞれの手料が徴収されますので、二重の手料負担となります。

【取扱株価指数等証拠金取引について】

当社では、リセット付株価指数等証拠金取引として東京金融取引所の取引扱う日経225リセット付証拠金取引、DAX®リセット付証拠金取引、FTSE100リセット付証拠金取引、NYダウリセット付証拠金取引、金ETFリセット付証拠金取引、原油ETFリセット付証拠金取引の6種類を取り扱います。

【その他】

お客様の注文執行後に当該注文に係る契約を解除すること(クーリングオフ)はできません。個人の場合、原則益金は雑所得として申告分離課税の対象となり、確定申告をする必要があります。税率は、所得税が15%、復興特別所得税が所得税額×2.1%※、地方税が5%となります。その損益は、差金等決済をした他の先物取引等の損益と通算でき、また通算して損失となる場合は、一定の要件の下、3年間繰り越すことができます。

※復興特別所得税は、2013年から2037年まで(25年間)の各年分の所得税の額に2.1%を乗じた金額(利益に対しては、0.315%)が、追加的に課税されるものです。

【ライセンスのディスクレーム】

日経平均株価(日経225):

「日経平均株価」は株式会社日本経済新聞社(以下「日本経済新聞社」といいます。)によって独自に開発された手法によって算出された著作物であり、日本経済新聞社は「日経平均株価」自体及び「日経平均株価」を算出する手法に対して、著作権、知的財産権、その他一切の権利を有しています。「日経平均株価」を対象とする株価指数証拠金取引(以下「本件証拠金取引」といいます。)に関するすべての事業、取引規制および実施は、専ら株式会社東京金融取引所(以下「金融取」といいます。)およびその参加者の責任であり、それらについて日本経済新聞社は一切の義務ないし責任を負うものではありません。本件証拠金取引市場を運営するに当たり本件証拠金取引に必要となる「日経平均株価」採用銘柄の配当落ち分は、金融取の責任の下、算出及び公表しています。日本経済新聞社は「日経平均株価」の採用銘柄、算出方法、その他「日経平均株価」の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。日本経済新聞社は「日経平均株価」を継続的に公表する義務を負うものではなく、公表の誤謬、遅延または中断に関して、責任を負うものではありません。

ダウ・ジョーンズ工業株価平均(NYダウ):

Dow Jones Industrial Average™(ダウ・ジョーンズ工業株価平均)は、S&P Dow Jones Indices LLC(以下「SPDJI」)が算出する指数であり、SPDJIがライセンスに係る権利を保有しています。「DJIA®」、「The Dow®」、「Dow Jones®」及び「Dow Jones Industrial Average」(ダウ・ジョーンズ工業株価平均)のサービス・マークは、Dow Jones Trademark Holdings, LLC(以下「DJTH」)からSPDJIにライセンス供与されており、株式会社東京金融取引所(以下「金融取」)による一定の目的のために、SPDJIから金融取へ使用に関するサブライセンスが付与されています。金融取に上場されるダウ・ジョーンズ工業株価平均を原資産とするNYダウリセット付証拠金取引は、SPDJI、DJTH及びそれらの関連会社により後援、承認、販売又は宣伝されるものではなく、これらのいずれもかかる商品への投資の妥当性に関していかなる保証・表明もしていません。

DAX®:

DAX®はコンティゴ インデックス GmbH及びドイツ取引所グループ(以下「コンティゴ」)の登録商標です。DAX®リセット付証拠金取引は、コンティゴにより保証、推奨、販売等いかなる形においてもサポートされているものではありません。コンティゴは、DAX®リセット付証拠金取引でのインデックス利用に伴う結果及びインデックストレードマークの利用、ある時点でのインデックスの価格等いかなる点においても、明示的及び黙示的な保証及び代理権を与えているものではありません。インデックスはコンティゴで計算し公表しています。しかし、適用可能な限りの制定法下において、コンティゴは第三者に対しインデックスの誤謬について責任を負いません。さらに、インデックスの誤謬の可能性を指摘する義務を、投資家を含む第三者に対して一切負いません。コンティゴによるインデックスの公表及びDAX®リセット付証拠金取引へのインデックスとインデックストレードマークの利用を認めたことによって、コンティゴとしてDAX®リセット付証拠金取引への投資を推奨し、またはこの投資の魅力について意見を表明するもしくは保証するものではありません。コンティゴはインデックス及びインデックストレードマークの唯一の権利所有者として、東京金融取引所に対してDAX®リセット付証拠金取引に関連してインデックスとインデックストレードマークを利用及び参照することを認めたものです。

FTSE100:

FTSE100リセット付証拠金取引について、FTSE International Limited(以下「FTSE」)、London Stock Exchange Groupの会社(以下「LSEG」)(以下「ライセンス供与者」と総称)は、スポンサー、保証、販売、販売促進を一切せず、ライセンス供与者はいずれも、(i) FTSE100(以下「インデックス」)(FTSE100リセット付証拠金取引が由来する対象)の使用から得た結果、(ii) 上記インデックスが特定日の、特定時間において示す数値、(iii) FTSE100リセット付証拠金取引に関連して使用される何らかの目的に対するインデックスの適切性—について、明示、暗示を問わず、請求、予測、保証や意見表明を行いません。ライセンス供与者はいずれも、東京金融取引所またはその顧客、得意先に対し、当該インデックスに関連する金融や投資に関する助言または推薦を提供したことはありませんし、その意思もありません。当該インデックスはFTSEまたはその代理人が算出します。ライセンス供与者は、(a) インデックスの誤り(過失その他であっても)に対していかなる者に対しても責任を負うものではなく、(b) いかなる者に対してもインデックスの誤りについて助言する義務を負うものでもありません。東京金融取引所はFTSE100リセット付証拠金取引の組成にあたり、FTSEよりその情報を使用する権利を取得しています。当該インデックスの全ての権利はFTSEに帰属します。「FTSE®」はLSEGの商標で、ライセンスに基づきFTSEが使用します。